

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675200226
法人名	有限会社 文月会
事業所名	グループホーム ころ
所在地	鹿児島県始良市加治木町西別府2820番地3 (電話) 0995-63-6300
自己評価作成日	平成23年8月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者がここで安心して生活が継続できる様におひとりおひとりの環境づくりを重点的に努力しております。ご家族も介護に参加できる様に出来事や変化等を面会や電話でお伝えしております。入居中の生活が心安らぐ場で有る様に、また、恐怖や孤独感を感じない様に細かな変化にも対応しております。地域は山村ですが、高齢者たちの働く姿がいつも見ることができ、緑の多い自然の中でゆったりと生活することができます。おひとり、おひとりの健康面も今までの関係を維持できる様に入居前まで関係してこられた主治医との関係を継続し受診支援を行っています。職員全員が、地域の中で普通の関係で生活できる様に願っており、地域の行事に参加できる様に心がけています。新たな住み替えのこの地で、入居者の皆さんが心からの笑顔で、私達と共にいつまでも過ごせるように願っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・このホームは、加治木町の山間の高台にあり、周りは畑や近くには高岡公園など、四季に恵まれた自然環境の中にある。
- ・事業所の敷地内に野菜畑があり、周りには近隣住民の日常の作業光景が観られ、時には入居者も草取りなどの手伝いをしている。
- ・代表者と介護長・職員との連携が良く、何でも話し合える関係であり、日常的なケアなどで、事業所運営に反映されている。
- ・近隣住民との関わりも良好で、地域行事には入居者全員が参加し、また、地域住民も事業所に気軽に立ち寄り、友好の輪が広がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	いつも平常心を持って、理念に添って入居者の心により添って笑顔で生活できる様にしている。優しい言葉かけを行っている。愛情を心がけている	職員・管理者ともに、地域密着型サービスの意義を認識し、理念を常に念頭において実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や近隣での美化作業や上棟祝等へ参加している。散歩等の際は声かけをして頂ける。受入は良く気遣いがある。美化作業への参加、地域バザーへの参加、子供会との交流。	自治会に加入し、入居者とともに地域で挨拶をしたり、日常的に会話が行われている。ホームは地域住民の高齢者の介護や認知症の相談を受けるなど、また地域行事の互いの交流も密接である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議でホームでのケアや情報について話し合う。電話での問い合わせに対する電話対応。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	アンケートや評価についての報告を行っている。意見をいただいた事柄についてはミーティングで報告し日常の支援に生かしている。	運営推進会議は定期的に行われ、地域代表や家族・行政等の参加を貰って、防災や見守り・地域作業等、たくさんの意見を頂き、アンケートや評価についての報告も行い、サービスの質の向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議での情報提供。電話での質問事項に関して対応している。運営推進会議に行政からの参加があり報告がしやすい環境にある</p>	<p>運営推進会議に、行政からの参加があり、事業所に関する報告や情報交換を行ったりして連携を密にしている。市主催の研修会にも参加している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠は行っていない。身体拘束廃止委員会の実施で現在の入居者の状況を確認し、身体の安全を守りつつ、徘徊や昼夜逆転等の行動に対するケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の弊害を職員がよく理解しており、身体拘束廃止委員が研修に参加し、毎月のミーティングや研修会で伝達し、職員で勉強している。日中の玄関の施錠はしていない。心身の安全を第一に、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体の虐待、言葉心理的虐待、性的な虐待、介護放棄、経済的虐待等を勉強会で学び事業所内で虐待が起こることがない様に防止に努めている</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護について学ぶ機会を持ち接し方、話し方、聞き方等について認知症等で判断の難しい方に対しても介護してあげるといふ態度で支援しない事をルールにしている</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時や退居時には契約書の内容や入居時にかかる費用の説明不安、疑問等をキーパソンやご家族の方々と話す時間を設けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族や入居者の要望や意見が出にくいのでアンケートを実施したり、個人支援プランの立案に際して入居者に伺ったり、家族に伺う様にしている。日常の会話の中の小さな事でも意見要望が引き出せるようにしている</p>	<p>苦情の受付については、重要事項説明書に記載し、契約時に説明をしている。ケアプラン作成時には、本人や家族から、意見をもらっている。面会時の会話や日常生活の中から、意見や要望を聞き、運営に反映させている。アンケートも実施している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングの際に今年度の事業計画、運営について話し合い職員の意見を聞いている。設備の補修や研修の参加進捗状況、就業規則の内容変更、備品の購入等意見をもらい反映している</p>	<p>職員の異動は少なく、また個々の役割分担があり、ミーティングにおいて、それぞれの役割の中から質の向上のためのさまざまな意見が出され、検討して、運営に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則の整備等を行い職場環境や条件の整備に努めている。休憩時間のお完全実施や、タイムレコーダーによる時間管理、超過勤務等について検討し整備を行った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の参加状況を把握し、全員が平等に研修に参加できる様に配慮されている。介護福祉士、ヘルパー研修等資格取得について取得の意思の有無を確認し取得への支援をしている。</p>			
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所での交流研修の希望は出ているが実施ができていない。研修等での交流はある。グループホームの親睦会には参加して交流を図った。ネットワークづくりに役だっている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居を希望された段階でご家族に困っている事や不安な事を伺い、ご本人が入院等の場合は面会しお会いしてご本人の意向等伺っている。また、MSWに助言を得る事や介護支援専門員に助言を得る事もある		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申し込みの段階から家族がお困りの事や不安、要望等を傾聴し十分にお話いただける様に、またお話を受け止められるように傾聴に努めている。また、ご家族のお話の内容を反復し確認をいただく様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族やご本人の要望や意見が十分に聴く事ができ、まず必要なサービスが何かお話から確認し、当事業所で対応不可であれば他事業所の紹介や、居宅支援事業所への照会等を行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	心からの笑顔を見せて頂ける様に暮らしを共にさせていただく者としての関係づくりを目指している。家で暮らしている様に主体的に暮らしていただきたいと思っている。まずはその行動を受け止める様に心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつまでも家族の一員であるという観点から、いろいろな細かな変化等でも、面会や電話、文書の送付の際にお伝えし、一緒に考えながらケアをしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人等の面会も来ていただきやすいようお迎えしている。自宅で自由に過ごしていただいている。家族に良く出てくる名前など伝えて面会等をお願いしている。外泊等できる環境のある方は勧めている	墓参りや自宅訪問、理・美容院などへの外出は、家族や職員の連携で行われて、今までの馴染みの関係が途切れないようにしている。ホームを地域に開放して、近隣の人や知人が出入りしやすいように心を配っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	イスの配置や座席等を配慮し孤立しない様にしている。話題など共通の話題になる様に提供し皆で過ごすことが多い。離れて座っても常に言葉を交わすように配慮している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居中の写真の提供や、家族の相談の電話連絡の支援に努めている。家族の方が遊びにみえた際は歓迎しお話をする		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人1人の思いや意向について伺える様に日々の会話や行動の中から引き出せるように努めている。また、ご家族から伺う事もある	日常生活の中の、会話や表情・行動から、利用者それぞれの思いや意向を把握し、家族にも意見を聞いている。意思表示の困難な場合は、職員会議で話し合い、また家族の意向を聞き、本人本位の支援になるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの関係、サービスの経過等ご家族や本人に併せて伺う様にし、役立てている。日常の会話の中で今までの生活について教えていただいている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活ケアの中から、記録の中から、家族との会話の中から、外出の際や受診の際等いろいろな場面で本人の有する力について把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題とケアについて本人、家族やスタッフ等とそれぞれに話し合いアセスメントやモニタリング、カンファレンスを行い現状に即した計画作成に活かしている。	本人が安心して暮らせるように個性を尊重し、本人や家族・職員等、それぞれの意見をもとに介護計画を策定している。定期的に、また必要時にモニタリングを行い、次の計画に反映し現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実践や結果を記録し、必要な場合は計画を変更し実施している。計画の把握が不十分な場合もあるが就業前に情報を把握する様に義務づけている。日常の情態は記録し情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外泊時の困り事の相談受付支援。入院時の情報提供支援と病院とのケア支援の共有。夜間や救急時の主治医との連携と往診受入。急変時の同行受診。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努めている。散歩等や地域行事への参加ができる様に地域との交流を図っている。地域運営推進会議で民生委員や自治会長に入居者の現況をお知らせしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入居前からのかかりつけ医を受診し、本人ができない場合はスタッフが代弁して適切な治療が受けられる様支援している。受診時日常の情態をお知らせできる様にしている	かかりつけ医の受診支援や協力医療機関との連携も密に行っている。受診結果は、家族に報告し、医師に指示を受けている。緊急時の受診についても、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>細かな気づきを捉え看護師に報告がなされ、かかりつけ医や看護師への対応が早いと、早期に対処できている。訪問診療の際に主治医や看護師に気軽に相談できる関係であり、相談を行っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>最近入院に至っていない。入院前に通院し治療を受ける等している。入院に関しては主治医から、早期退院についての説明なども受け入院中のケアについても情報交換にあたっている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ケアプランの更新時に主治医に急変時の対応や終末期の対応について何う様にしている。また、ご家族に現状の説明をし、ご家族との過ごす時間を増やしていただく等、本人やご家族が安心して過ごしていただける様に配慮している。</p>	<p>入所時にホームでの可能なケアについて説明している。プラン更新時や状態の変化のあるときは、医師や家族関係者と話し合い、その都度確認し、急変時や終末期に向けた方針を、早い段階から共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会はしている。今年職員の入職もあったため必要性はある為近日実施予定。大事な事については食事の際の誤嚥や、歩行の際の転倒骨折等、服薬等その時々で学習している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の高齢化の為協力を得るのは困難になっているが火災避難訓練に近隣者の協力を得て行った。一人夜勤の設定で訓練を行っている</p>	<p>消防署立会いの総合訓練を、年2回、ホームの入所者や職員の訓練を、年1回行っている。地域の高齢化が進んでいるが、火災避難訓練には近隣の協力を得て一緒に行っている。非常食や飲料水の備蓄もされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日常の会話やケアの中で個々の人格を損ねない様に入職の際や、職員教育の中でコンプライアンスルールの学習をし言葉かけには注意を図っている。接遇の研修に参加している</p>	<p>一人ひとりの人格を尊重し、自尊心等については、生活歴の中から把握している。またプライバシーの確保に努めている。誇りを傷つけないように、トイレ誘導等、周囲の状態に気を配って、言葉かけやケアに努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者の言葉を傾聴し思いや希望が表現できるように、自己決定ができる様にコミュニケーションを図っている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>例えば入浴拒否が有った場合などお誘いはするが入浴時間を変えたり、日を改めたりする。朝、起床ができない場合などは時間をずらす等希望に添って支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご本人らしい身だしなみができる様に支援している。櫛を準備する。スカーフを利用する。服を買い物に行く等の支援をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りに限界のある方も有るので下ごしらえや片づけ等に参加していただいている。作り方や味付けを教えていただく場合もある。その方ができる事で参加していただいている	食事の準備や調理の下ごしらえ・味付け・作り方を教えてもらったり・後片付け等、その人にあつた方法で職員と一緒にしている。食器も入居者の好みの物を選んでいる。弁当持参の花見やドライブの夕食も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の把握や水分摂取の状況を記録にし自分で取れない方は状態により支援している。一人ひとりの形態や量の把握をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ここに応じた口腔ケアをしている。できない人の力に応じた支援を毎食後している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ここの状態や力に合わせた排泄の支援をしている。本人の力を大事にし、安易なおむつの使用をしない様にしている。排泄のパターンを理解しトイレに行けるように支援している	個々の状態に合わせた排泄の支援をしている。各利用者の癖や排泄パターン・サインを見逃さないように、トイレに誘導し、全職員がオムツをしない排泄の自立支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取や、繊維の多い食品をとる様に努めている。適度な運動も促している。主治医に相談し解決につながる場合もある。受診時に結果を必ず報告できる様にしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間は決められているが必要な場合はいつでも使用できる。入りたくない場合など時間や曜日をずらす等の支援をしている。	入浴時間外でも希望があればそのつど対応している。見守りや介助の支援で個浴を楽しんでいる。利用者によっては時間をずらせたり、曜日を変えたりして、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1週間に1回は寝具カバーを交換している。眠れない際はゆったりと対応し話を聴いたり、傍で見守りや言葉かけをし安心していただけるよう努力している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケース検討の際等に薬の内容などが理解できるように説明する。重要な薬の場合は特に注意している。各個人の薬情つづりを作り自由に見ることができる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌謡番組やドラマを把握し録画支援をしている。本の購入や市報、新聞等の提供や話題を提供し昔の回想等しながら会話をしている。できる家事等は参加し能力発揮をしていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族の協力を得て外泊をしたり外出をしているが、特定の方に限られる。地域の行事に出かけたりしている。庭に出て近所の犬を見に行く。複数の入居者同士で散歩に行かれるのを見守る等の支援をしている。近所の方から声をかけていただいている</p>	<p>日常的には、近隣の散歩を行い、地域住民と会話したり、回覧板を届けに行ったりしている。また、近くの高岡公園へ出かけたり、地域の行事に参加している。また、家族の協力を得て、外泊や外出等をして、本人の希望に添えるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理は2名している。病院受診や買い物の際に本人の力に応じて支援している。買い物の際は「お金を私は持っていないから」が大部分だが、その都度説明し買い物をする。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話が来ると対応している。絵手紙作品を大切なご家族に出したり、葉書きの住所を代筆している。自ら電話をかけたいと言われる事例は現在ない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間から外が眺める事が出来、季節の移り変わりが楽しめる。畳も準備してあり、足を伸ばすことができる。トイレは表示をしわかり易くなっている。皆でテレビ鑑賞や話を楽しむスペースと個人で楽しむスペースを設けている</p>	<p>共用空間は、外の風景や畑・農作業をしている人などが眺められ、職員や入居者の手作り作品が飾ってある。畳やソファがあり、それぞれ好きな場所で自由にゆっくりくつろげるスペースが確保され、居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った者同士で過ごせるように椅子の配置を工夫している。一人で過ごしたい場合は配慮している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際には本人が使用していた寝具や洋服、靴や使い慣れた物を持って来られ使用している。写真等を家族が部屋に置かれると入居者同士で自室に招き話を楽しまれる入居者もある</p>	<p>電動ベッドとタンスはホームで用意しているが、馴染みの寝具や日用雑貨が持ち込まれ、家族の写真や位牌等が置かれている。入居者同士で自室に招いたり、話し込んだりして、居心地よく暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>浴室やトイレ、ポータブルトイレ、ベットの配置等更衣や排泄、歩行が自力でできる様に手摺等の工夫や配置の工夫をしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない